

主催
東京外国語大学
国際関係研究所

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会

欧州議会の懐疑主義政治グループ：2024年選挙によせて

欧州懐疑主義政党の勢力拡大がEU各国で問題視され既に久しい。今年6月の欧州議会選挙では、グランドコアリション（EPP・S&D・REの親EU連合）の過半数割れさえ、可能性としては否定できない情勢である。本報告では、欧州議会内の懐疑主義政治グループを主題に取り上げ、次の4点を論じる。(1) 懐疑主義発生の背景的要因、(2) 欧州議会内懐疑主義グループへの研究関心、(3) 欧州保守改革グループ（ECR）およびアイデンティティとデモクラシー・グループ（ID）の理念と動向、(4) 欧州議会選挙の事前予想および結果分析。

参加登録はこちら
6月24日(月)正午まで



2024年6月26日(水)
17:00~18:30

ZOOMによるオンライン研究会

一般公開・参加無料
(主に研究者・実務家向け)

■ 報告者 臼井陽一郎氏 新潟国際情報大学 教授

■ 司会 若松邦弘氏 東京外国語大学 教授

東京外国語大学
国際関係研究所



www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/



iir-office@tufs.ac.jp (国際関係研究所事務局)